

分野横断的な地域研究を推進するために、東北アジア研究センターは、研究プロジェクトユニットや共同研究、さらに公募型の共同研究制度を備えて、内外の研究者との研究活動を活発に行っています。

この成果報告会では、個人研究をふくむ 2014 年度の研究成果を口頭発表・ポスター発表の形で発表します。関心のある方の参加をお待ちしております。

プログラム

● ユニット事業報告 10:10-11:30 <司会：千葉 聡>

- | | |
|-----------------------------------|-------|
| U-1 東北アジア言語文化遺産研究ユニット | 栗林 均 |
| U-2 21世紀における東北アジア地域像の創出に関する研究ユニット | 岡 洋樹 |
| U-3 出版文化資料データベース研究ユニット | 磯部 彰 |
| U-4 現代中国社会的変容に関する文化人類学研究ユニット | 瀬川昌久 |
| U-5 20世紀ロシア・中国史再考研究ユニット | 寺山恭輔 |
| U-6 減災をめざした電波科学研究ユニット | 佐藤源之 |
| U-7 災害と地域文化遺産に関わる応用人文科学研究ユニット | 高倉浩樹 |
| U-8 東北アジアにおける大気環境管理スキームの構築研究ユニット | 明日香壽川 |

● 個人発表 11:40-12:10 (ポスターセッション)

- | | |
|--|--|
| P-1 Polarimetric UWB SAR for Subsurface Imaging of Building Structures and Soil Moisture Estimation by Pt-SARHL2 and GPR | コヤマ クリスチャン |
| P-2 江戸時代の松島と旅行者 | 高橋陽一 |
| P-3 非破壊検査用合成開口レーダの研究 | 飯塚 泰 |
| P-4 蔵王山・丸山沢噴気地熱地帯の噴気温測定と温泉水化学分析 | 後藤章夫
松中哲也 (筑波大学)
渡邊隆広・土屋範芳 (環境科学研究科)
高橋一徳 |
| P-5 御嶽山噴火後の金属探知機による行方不明者捜索活動のための火山灰及び土壌磁気特性評価 | |
| P-6 湖沼沿岸生態系食物網の解析的研究 | 鹿野秀一 |
| P-7 天文五行占書の伝本調査概況とテキスト問題について | 佐々木 聡 |

● 共同研究発表 13:00-18:00

<文化交流セッション> 座長：瀬川昌久

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1 伝統的モンゴル語辞書の研究 | 栗林 均 |
| 2 聖書翻訳を通して見るモンゴル宗教文化交流史 | 滝澤克彦 (長崎大学) |
| 3 典籍文化遺産の研究 | 磯部 彰 |

<歴史セッション> 座長：岡 洋樹

- | | |
|------------------------------|-------------|
| 4 日本列島の文化交渉史—経済と外交 | 荒武賢一朗 |
| 5 江戸時代から現代に通じる東北の歴史 | 荒武賢一朗 |
| 6 日本と韓国における村落の歴史と景観 | 渡辺尚志 (一橋大学) |
| 7 新疆、満州をめぐる 20 世紀前半のソ連、中国の政策 | 寺山恭輔 |

<社会と民族誌セッション> 座長：柳田賢二

- | | |
|---|---------------|
| 8 近世・近代における内陸アジア遊牧民社会の構造的特質とその変容に関する研究 | 岡 洋樹 |
| 9 華人の移動とその「故郷」についての民族誌的研究—華僑華人研究の新たなパラダイムに向けて | 川口幸大 (文学研究科) |
| 10 現代中国社会的変容とその研究視座の変遷—「宗族」を通じた検証 | 瀬川昌久 |
| 11 家・空間における食実践に関する文化人類学的研究—社会関係を開閉するという視座から | 三浦哲也 (育英短期大学) |

<震災セッション> 座長：平野直人

- | | |
|--------------------------------------|--------------|
| 12 震災復興のための地中レーダによる遺跡探査推進 | 佐藤源之 |
| 13 東日本大震災後の復興過程に関わる地域社会比較と民族誌情報の応用 | 高倉浩樹・及川高 |
| 14 東日本大震災被災地域における宗教活動と社会的多様性に関する調査研究 | 木村敏明 (文学研究科) |

<政治経済セッション> 座長：塩谷昌史

- | | |
|---|---------------|
| 15 畜産物の流通にみるモンゴル高原のグローバリゼーション | 風戸真理 (北星学園大学) |
| 16 東北アジアにおける辺境地域再編と共生生態に関する歴史的・現代的研究 | 岡 洋樹 |
| 17 中国における石炭消費削減策が大気汚染および温暖化を緩和する可能性 | 明日香壽川 |
| 18 PM2.5 を中心とした東アジアにおける越境大気汚染に対処するための外交戦略に関する研究 | 石井 敦 |

※所属先の記載がないものは全て東北アジア研究センター所属

● 【懇親会】 18:30 ~ 仙台国際ホテル (カッチーナ) / 会費：3,500 円 ※要申込み

2014年度

研究成果報告会

会場

東北大学 片平北門会館
2階 エスパス

日時

3 / 24 火

10:00 ~ 18:00